

4月28日(火)

神は御子に委ねました

聖書朗読 ルカ 2:1~7

私は心を尽くして主に感謝します。あなたの奇しいわざを余すことなく語りあげます。
詩篇 9:1

大学生の時の伝道旅行で、仲間たちとともに、ホームレスのための施設で夜ボランティアをしながら過ごしたことがあります。そこは暗く、夜勤だったので、文字通り本当に暗い場所でした。私達と話したがる人もいましたが、ほとんどの人がそうではありませんでした。彼らはとても疲れていて、汚れている人が多かったです。彼らの人生が厳しいものであることはすぐにわかりました。彼らは危険や、周りからの敵意の目にさらされ、人生のどん底にいました。

このくたびれきった場所で、ある女性が、やはり彼女も周りの人たちと一緒に、疲れた顔、何日もシャワーを浴びていない体で、私達を胡散臭そうに見ながら近づいてきました。よく見ると彼女の手には美しく、無防備で、そしてお母さんがいないと生きてはいけない赤ちゃんが抱かれています。このような施設の中で、この赤ちゃんは、清らかさと、希望で暗闇の中に優しく輝いていました。この光景はあまりにも美しく、未だに忘れられません！

私は、暗闇と、危険と、疑いと、飢えで満ちたこの現実に打ちのめされました。しかし同時に、暗闇の中に清らかで愛らしい赤ちゃん—神が御子に託した希望の現実もこのときに見ました。神の私達に対する愛はなんと素晴らしいのでしょうか！

讃美歌 356

祈り 主よ、あなた様の大きなめぐみに感謝いたします。目を開いてあなた様のめぐみと、犠牲と、救いを見ることができますように。
イエス様のお名前でお祈りします。

ケリー・エフィ
テキサス州 ラボック

4月29日(水)

兄弟の番人になる

聖書朗読 ルカ 3:7~11

主はカインに、「あなたの弟アベルは、どこにいるのか。」と問われた。カインは答えた。「知りません。私は、自分の弟の番人なのでしょう。」

創世記 4:9

信仰の歩みについて考える時、私達は自身の信仰生活や祈りについてばかり考えてしまいがちですが、他の人の信仰の歩みを助けるということについて考えたことはあるでしょうか？神のカインへの問い、「あなたの弟アベルは、どこにいるのか？」私達が自分の兄や妹たちについて聞かれているのと同じです。彼らはどうしているのでしょうか？ 私は彼らのために何ができるのでしょうか？ヨハネがヨルダン川のほとりで群衆に語った時、この昔からの問いに答えました。「下着を二枚持っているものは、持たない者に分けてあげなさい。食物をもっている者も同様にしなさい。」もしくは、霊的な励ましが必要かもしれませんが。神の真実を彼らに伝えることで、自分が強められた聖句を彼らに伝えることで、兄弟たちを助けることができるかもしれません。

神はめぐみの賜物すべてを私達にくださっています。そして神が私達に望むことはシンプルなことです。それは「神を愛し、隣人を愛せよ」です。神の力が私達の中に宿っているので、私達は神を愛することを、隣人を愛することを望み、そして実行します。もし幸運にも誰かをキリストのもとに導く手助けができる時、または仲間のクリスチャンの信仰を深めるための手助けができる時、喜びを持ってそれを行きましょう。

讃美歌 537

祈り 親愛なる御在天のお父様、あなた様から日々いただけるめぐみに感謝いたします。兄弟の力となれますように。そして彼らの番人となることができますように。誰かをあなた様に導くことで私たちのあなた様への愛が示すことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョシュア・グリー
イリノイ州 チャタム

4月30日 (木)

毎日の食卓で

聖書朗読 ルカ 11:1~3

わたしはいのちのパンです。

ヨハネ 6:48

「主よ、この食事を感謝いたします。ここに用意されたものを祝福し、私たちの心とからだを支える糧としてください。主のみ名によってお祈りいたします。アーメン。」これは食事に行われる馴染みのあるお祈りです。この祈りをするたびに、食べ物に、命について、そして信仰についての主のみことばを思い出します。

御国が来ることを待ち望むことと、日々の糧を受け取ることと、この二つはどうか関係があるのでしょうか？ヨハネの福音書6章で、イエス様はなぜご自身を「いのちのパン」と呼ばれたのでしょうか？霊的なものと物質的なものをはっきりと区別をつけたがる私達にとって、このような問いは難しいものとなります。

救いの歴史の中、常に物質、つまり日々必要な食べ物や飲み物と霊的なものが合わさって契約の成就が行われてきました。あなたが、イスラエル人の指導者たちの中に座って神を見て、飲み食いをしていることを想像してみてください（出エジプト24:11）

あなたが今食べて、飲んでいるテーブルが、この地上の生活と天の生活をつなぐエリア(thin place)であると考えてみてください。ケルト人たちは、「thin place」を神のいる永遠の世界とこの世が交わる場所として使っていました。日々の食卓は、創造主である神と、救い主である主と楽しい交わりの中となるのです。

讃美歌 352

祈り 親愛なるお父様、食事を楽しむとき、食事を通して、被造物の中に、食べ物の中に、永遠の命の中に賜物であられるあなた様自身を感じることでありますようにお助けください。私の食卓へようこそ！

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

イアン・シェルバーン
テキサス州 アビリン

5月1日 (金)

見守る父

聖書朗読 ルカ 15:1~10

空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりももっとすぐれたものではありませんか。

マタイ 6:26

オレゴンにいる友人の家の敷地には非常にたくさんのうずらの巣があるそうです。ある日、友人が庭を歩いていたら、一匹の雄のうずらが30から40羽のうずらの群れを率いて歩いているのを見たそうです。そこに何の前触れもなく、いきなり鷹が空から現れ、一匹の雛を連れ去って行ってしまいました。雛が消えたことに気づいた雄のうずらは雛を返してと言わんばかりに鳴きはじめました。

この出来事を私に話してくれた彼と彼の妻の声はひどく辛そうでした。雛を連れ去られた雄のうずらの物悲しい鳴き声は数時間ものあいだ続いたそうです。その鳴き声は彼らの心をかき乱しました。その時まで、友人はうずら狩りをよくしていましたが、それ以来、彼は二度と狩りをしなくなったそうです。他の生き物をこれほどにも苦しめることはもうできないと思ったのでしょう。

この話を聞いて、私はルカの福音書15章のイエスさまの話を思い出しました。一匹の羊がいなくなったとき、一枚のコインがなくなったとき、息子がなくなったときの悲しみがどれほどのものであるか、そして失ったものが再び戻ったときの喜びはどれだけのものであるかを知ることができます。そして再び手にするまでに流す涙や悲しみどれほどだったのかもまた知ることができます。これは神の子ひとりでも道に迷ったときに神が感じられる苦しみなのではないかと思います。迷っていた者が家に戻ってきたら、御国ではお祝いが始まります！

私はいつも神の終わりのない愛に感謝します。

讃美歌 II183

祈り 父なる神、群れから離れてしまった羊、なくしたコイン、放蕩息子はあなた様の大きく永遠な愛の証人となります。あなた様の終わりのない愛を知り、分かち合うことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ケニー・ウェストモーランド
テネシー州 セリーナ

5月2日(土)

救い主への道

聖書朗読 ルカ 19:1~10

あなたがたのうちにはイエス・キリストがおられることを、自分では認めないのですか。
Ⅱコリント 13:5

ニュースを見ていたら、ある男性が私の目に留まりました。彼のTシャツには「私はイエス様のもの」とプリントされていました。それを見た私は、心の中で「そう! 私も!」と叫び、そしてなんて大胆な主張なのだろうかと思いました。車に貼られる名言ステッカーのように、その言葉はあなたが言っているのと同じこととなります。ですから、その言葉に反するようなことはできません。

ユダヤ人の間で取税人は嫌われていました。ザアカイはその取税人の頭で、ユダヤを支配しているローマ帝国のために税金をユダヤ人から徴収していました。ザアカイは、かなり強引な方法で彼らからお金を徴収し、私腹を肥やしていました。イエス様がエリコの町に入ったとき、ザアカイはイエス様を見たいと思っていました。そこにいた群衆はこの嫌われものがイエス様を見れないように邪魔をしました。恐らくこの背の低い嫌われものがイエス様を見ることができるよう譲った人は誰一人いなかったのでしょう。

私たちもまた、誰かのイエス様への視界を遮っている可能性があります。「私はイエス様のもの」と書かれているTシャツを着ている人が、その意味について聞いた人にそっけない態度を取ったらどう思いますか?当然その人は「クリスチャンとはこんなものなんだ。仲間にはなりたくないな」思うでしょうね。

不誠実な態度をとって、イエス様を他の人から遮るのはやめましょう。救い主への道を作りましょう! 私たちの愛、誠実さ、そして優しさでその道を照らし、人々を我が救い主へと導きましょう。

讃美歌 380

祈り 聖なる神、御子を探し求める人たちの道しるべとなれますようお助けください。そして、私たちが彼らの邪魔になってしまっているとき、どうぞ教えてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マイケル・オニール
フロリダ州 ティッツビル

5月3日(日)

赦し、希望、力

聖書朗読 ルカ 22:31~34

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。 Iヨハネ :9

最後の晩餐で、イエス様は、わたしを裏切る者の手がわたしとともに食卓にあります。しかし、私を否定するものの手についてはおっしゃられませんでした。ある弟子は、裏切り、消え、そして死にました。そしてある弟子は、否定し、苦しみの涙を流しました。しかし、主の手は彼を支えました。

その食卓で、イエス様はペテロに、サタンはペテロが本当に主に従うことができるか試すことを試みたと話しました。しかし、イエス様はペテロを試すことをせず、ペテロの信仰がなくならないようにペテロのために祈るとおっしゃいました。イエスさまはペテロがイエス様を確実に否定することを知っておられましたが、イエス様はそれをペテロの信仰がなくなったからとは思いませんでした。ペテロが自分の行いに涙を流しているときのイエス様への愛と、ペテロに対するイエス様の愛は本物でした。ペテロはそのことを一生忘れることはありませんでした。

そして、イエス様はペテロに「話の結末」をおっしゃいました。イエス様の愛はペテロを導きました。ペテロは姿を隠しませんでした。「あなたが立ち直った(躓いたあと悔い改め、再び立ち上がったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい。」神はいつも完全無欠だと思っている者よりも、傷ついたものをお使いになられます。

赦し、希望、力。これらは、私たちが躓く前と、その最中と、その後を送られるイエスさまが愛するものへのイエス様からの贈り物です。

讃美歌 136

祈り 親愛なる主、ペテロと同じく私たちも躓きます。弱い私たちですが、私たちはあなた様を愛しています。そして、あなた様が私たちを愛してくださっていることを知っています。あなた様の愛とめぐみを通して、私たちを強めてください。そしてあなた様の栄光のために私たちをお使いください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

カーティス・シェルバーン
テキサス州 マルシュ